

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-281918

(43)公開日 平成9年(1997)10月31日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	府内整理番号	F 1	技術表示箇所
G 09 F 21/02			G 09 F 21/02	
G 09 G 5/00	5 1 0	5 5 0	G 09 G 5/00	5 1 0 B
// G 01 C 21/00			C 01 C 21/00	5 5 0 C
				Z

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 4 頁)

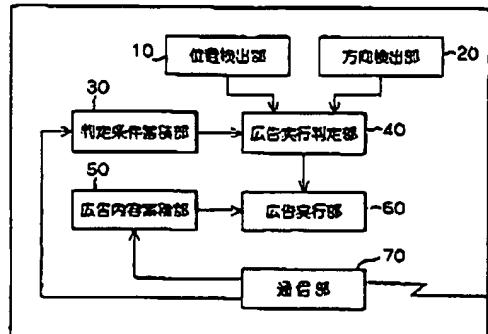
(21)出願番号	特願平8-92527	(71)出願人	000004226 日本電信電話株式会社 東京都新宿区西新宿三丁目19番2号
(22)出願日	平成8年(1996)4月15日	(72)発明者	福水 博信 東京都新宿区西新宿三丁目19番2号 日本 電信電話株式会社内
		(72)発明者	佐々木 元 東京都新宿区西新宿三丁目19番2号 日本 電信電話株式会社内
		(72)発明者	早川 和宏 東京都新宿区西新宿三丁目19番2号 日本 電信電話株式会社内
		(74)代理人	弁理士 鈴江 武彦 (外2名) 最終頁に続く

(54)【発明の名称】移動体用広告装置

(57)【要約】

【課題】本発明の課題は、広告主が、広告の受け手毎の最適な広告タイミングに広告を提供でき、ならびに、広告の受け手が、自分の移動と関わりのある広告を必要な時に取り出し得る移動体用広告装置を提供することにある。

【解決手段】本発明の移動体用広告装置1は、歩行する人が携帯可能、あるいは移動体に搭載可能な装置において、広告内容を蓄積する広告内容蓄積部50と、移動体の位置を検出する位置検出部10と、前記検出した位置によって広告を実施する否かの判定を行う広告実行判定部40と、前記判定に従い前記蓄積された広告を実施する広告実行部60とを備えることを特徴とするものである。



(2)

特開平9-281918

2

告は、広告提供側の都合で放送、配布しており、広告の受け手である移動する利用者の現在地あるいは経路上の場所と関連のある広告を、最適なタイミングで提供できない。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】従来では広告主が、広告の受け手毎の最適な広告タイミングに広告を提供できない欠点、ならびに、広告の受け手が、自分の移動と関わりのある広告を必要な時に取り出せないという欠点があつた。

【0005】本発明は上記の事柄に鑑みてなされたもので、広告主が、広告の受け手毎の最適な広告タイミングに広告を提供でき、ならびに、広告の受け手が、自分の移動と関わりのある広告を必要な時に取り出し得る移動体用広告装置を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために本発明の移動体用広告装置は、

(1) 歩行する人が携帯可能、あるいは移動体に搭載可能な装置において、広告内容を蓄積する蓄積手段と、移動体の位置を検出する位置検出手段と、前記検出した位置によって広告を実施する否かの判定を行う実施判定手段と、前記判定条件蓄積手段にて、検出した位置と検出した方向とによって広告を実施する否かの判定を行うことを特徴とする移動体用広告装置。

【請求項4】 請求項3記載の移動体用広告装置に、移動体の方向を検出する方向検出手段を新たに備え、前記実施判定手段では、検出した位置と検出した方向と前記判定条件蓄積手段にて、検出した位置と検出した方向とによって広告を実施する否かの判定を行なう実施判定手段と、前記判定条件蓄積手段にて、検出した位置と検出した方向とによって広告を実施する否かの判定を行なうことを特徴とする移動体用広告装置。

【請求項5】 請求項1、請求項2、請求項3又は請求項4記載の移動体用広告装置に、広告内容を受信するための通信手段を新たに備えることを特徴とする移動体用広告装置。

【請求項6】 請求項3又は請求項4記載の移動体用広告装置に、広告実施の判定条件を受信するための通信手段を新たに備えることを特徴とする移動体用広告装置。

【請求項7】 請求項3又は請求項4記載の移動体用広告装置に、広告内容とその広告実施の判定条件の両方を受信するための通信手段を備えることを特徴とする移動体用広告装置。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 歩行する人が携帯可能、あるいは移動体に搭載可能な装置において、広告内容を蓄積する蓄積手段と、移動体の位置を検出する位置検出手段と、前記検出した位置によって広告を実施する否かの判定を行う実施判定手段と、前記判定条件蓄積手段にて、検出した位置と検出した方向とによって広告を実施する否かの判定を行なう実施判定手段と、前記判定条件蓄積手段にて、検出した位置と検出した方向とによって広告を実施する否かの判定を行なうことを特徴とする移動体用広告装置。

【請求項2】 請求項1記載の移動体用広告装置に、移動体の方向を検出する方向検出手段を新たに備え、前記実施判定手段では、検出した位置と検出した方向とによって広告を実施する否かの判定を行なうことを特徴とする移動体用広告装置。

【請求項3】 請求項1記載の移動体用広告装置に、広告実施の判定条件を予め蓄積しておく判定条件蓄積手段を新たに備え、前記実施判定手段では、検出した位置と検出した方向とによって広告を実施する否かの判定を行なうことを特徴とする移動体用広告装置。

【請求項4】 請求項3記載の移動体用広告装置に、移動体の方向を検出する方向検出手段を新たに備え、前記実施判定手段では、検出した位置と検出した方向と前記判定条件蓄積手段にて、検出した位置と検出した方向とによって広告を実施する否かの判定を行なう実施判定手段と、前記判定条件蓄積手段にて、検出した位置と検出した方向とによって広告を実施する否かの判定を行なうことを特徴とする移動体用広告装置。

【請求項5】 請求項1、請求項2、請求項3又は請求項4記載の移動体用広告装置に、広告内容を受信するための通信手段を新たに備えることを特徴とする移動体用広告装置。

【請求項6】 請求項3又は請求項4記載の移動体用広告装置に、広告実施の判定条件を受信するための通信手段を新たに備えることを特徴とする移動体用広告装置。

【請求項7】 請求項3又は請求項4記載の移動体用広告装置に、広告内容とその広告実施の判定条件の両方を受信するための通信手段を備えることを特徴とする移動体用広告装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、歩行する人が携帯可能、あるいは移動体に搭載可能な移動体用広告装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来の歩行する人が携行可能なシステムあるいは移動体に搭載可能な広告システムは、TVやラジオのように放送局から送られてくる広告内容を受信し、それを表示したり音声出力するという技術を用いる。また、事前に蓄積された広告内容を順次繰り返し、あるいは利用者の操作に従って、表示や音声出力をを行うという技術を用いる。

【0003】しかし、放送されたり事前に配布される広

告は、広告提供側の都合で放送、配布しており、広告の受け手である移動する利用者の現在地あるいは経路上の場所と関連のある広告を、最適なタイミングで提供できない。告は、広告提供側の都合で放送、配布しており、広告の受け手である移動する利用者の現在地あるいは経路上の場所と関連のある広告を、最適なタイミングで提供できない。

【0004】(2) 上記(1)記載の移動体用広告装置に、移動体の方向を検出する方向検出手段を新たに備え、前記実施判定手段では、検出した位置と検出した方向と前記判定条件蓄積手段にて、検出した位置と検出した方向とによって広告を実施する否かの判定を行なうことを特徴とするものである。

【0005】(3) 上記(1)記載の移動体用広告装置に、広告実施の判定条件を予め蓄積しておく判定条件蓄積手段を新たに備え、前記実施判定手段では、検出した位置と検出した方向と前記判定条件蓄積手段にて、検出した位置と検出した方向とによって広告を実施する否かの判定を行なうことを特徴とするものである。

【0006】(4) 上記(3)又は(4)記載の移動体用広告装置に、広告内容を受信するための通信手段を新たに備えることを特徴とするものである。

【0007】(5) 上記(1)、(2)、(3)又は(4)記載の移動体用広告装置に、広告内容を受信するための通信手段を新たに備えることを特徴とするものである。

【0008】(6) 上記(3)又は(4)記載の移動体用広告装置に、広告実施の判定条件を受信するための通信手段を新たに備えることを特徴とするものである。

【0009】(7) 上記(3)又は(4)記載の移動体用広告装置に、広告内容とその広告実施の判定条件の両方を受信す

(3)

特開平9-281918

3

るための通信手段を備えることを特徴とするものである。

【0012】上記(1)～(7)の手段により、広告主が、広告の受け手毎の最適な広告タイミングに広告を提供でき、ならびに、広告の受け手が、自分の移動と関わりのある広告を必要な時に取り出すことができる。

【0013】

【発明の実施の形態】以下図面を参照して本発明の実施の形態例を詳細に説明する。図1は本発明の一構成例を示す構成説明図である。1は、歩行する人が携帯可能、あるいは移動体に搭載可能な広告装置であり、以下の位置検出部10、方向検出部20、判定条件蓄積部30、広告実行判定部40、広告内容蓄積部50、広告実行部60、通信部70の各部とマイクロコンピュータ等のそれらを制御する装置により実現される。10は、広告装置1の位置を検出する位置検出部であり、GPS(Global Positioning System)やジャイロ等の位置補足装置を利用して実現される。20は広告装置1の進行する方向を検出する方向検出部であり、地磁気検出を利用したものや位置検出の時間的差分から算出する装置などによって実現される。30は広告実施の判定条件を蓄積する判定条件蓄積部で、半導体メモリや磁気ディスク等の電子的な記憶装置で実現される。40は位置検出部10で検出した位置と方向検出部20で検出した方向と判定条件蓄積部30に蓄積されている判定条件から広告の実施を判定する広告実行判定部で、マイクロコンピュータのプログラム等で実現される。50は広告の内容を蓄積する広告内容蓄積部であり、磁気ディスクやCD-ROM等の電子的な記憶装置、オーディオテープやCD、VTR等の磁気テープ等の任意の組合せで実現される。60は広告実行判定部40の実行判定に従って広告内容蓄積部50の蓄積内容を再生、表示して広告を実施する広告実行部であり、広告内容蓄積部50の媒体と記録方式に応じてその再生を行う装置ならびに出力装置であり、アンプ、スピーカ等のオーディオ再生出力機器やVTR、TVモニタ等の映像再生表示機器、電子情報再生表示用のソフトウェアを搭載したマイクロコンピュータとディスプレイ機器等あるいはそれらの任意の組合せで実現される。70は外部の装置から送られ、判定条件蓄積部30に蓄積する判定条件、広告内容蓄積部50に蓄積する広告内容を取得する通信部であり、外部の装置からの情報を受信する無線受信装置または無線あるいは有線で通信を行うための携帯電話や電話回線などの通信手段またはそれらの組合せで実現されるが、必要に応じてモジュールの変換装置も組み合わせて使用する。

【0014】図2は、図1の判定条件蓄積部30に蓄積した判定条件の一例であり、広告毎の判定条件の表で示しているが、位置毎の判定条件で蓄積することも可能であり、判定条件の表現・記憶形式は任意である。また、

判定条件の内容については、用域内や境界通過等の位置と移動の関係を表す任意の条件の組合せの記述を行うことも可能である。

【0015】次に図1の動作を説明する。ここでは、図2の広告ID0001の広告が、本発明の移動体用広告装置1の移動にともなって実施される例で動作を説明する。

【0016】通信部70は放送の受信あるいは通信によって、判定条件または広告内容または両方を受け取り、それぞれ判定条件蓄積部30、広告内容蓄積部50に蓄積する。なお、判定条件あるいは広告内容あるいは両方について、装置起動前に蓄積されている内容のみを用い、通信による追加、更新を行わない構成も可能であり、その場合は、それを行うための通信部を削除了した最小限の構成であればよく、例えば、通信部70を外した構成も可能である。

【0017】位置検出部10は、現在位置を、方向検出部20は進行方向を適当な間隔で検出する。広告実行判定部40は、位置検出部10ならびに方向検出部20の検出した位置、進行方向と、判定条件蓄積部30に蓄積されている条件を照合することにより、例えば、現在地が座標1234から500m以内で北向きに進行している場合、広告ID0001の広告を実施すべきであると判定する。なお、位置あるいは進行方向の一方のみを広告実行の判定に用いることも可能であり、その場合には、それを行うための最小限の構成であればよく、位置検出部10あるいは方向検出部20の一方を欠く構成也可能である。

【0018】広告実行部60は、広告実行判定部40の実行判定を受けて、広告内容蓄積部50に蓄積されている広告ID0001の内容を再生する。例えば、広告ID0001の内容が広告内容蓄積部50のCD-ROM装置に格納されている場合には、その中から広告ID0001の部分を広告実行部60の画面上に表示し、あるいは音響装置から音声出力をを行う。

【0019】以上のように、歩行する人が携帯可能あるいは自転車等に搭載可能な移動体用広告装置において、移動体の位置や方向を検出する手段と、判定条件を予め蓄積する手段と、前記検出した位置や方向を前記蓄積した判定条件により広告を実施するか否かを判定する手段と、広告の方法や広告内容等の情報を予め蓄積する手段と、前記判定した結果に基づき前記蓄積した広告の情報を用いて実施する手段を備えることによって、広告の受け手と広告主にとってより適当な場面、タイミングにおいて広告を実施することができる。

【0020】

【発明の効果】以上述べたように本発明によれば、広告主が、広告の受け手毎の最適な広告タイミングに広告を提供でき、ならびに、広告の受け手が、自分の移動と関わりのある広告を必要な時に取り出すことができる。

(4)

特許平9-281916

5

6

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態例を示す構成説明図である。

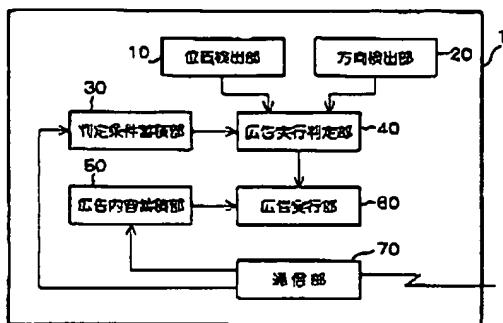
【図2】図1の判定条件蓄積部に蓄積した判定条件の一例を示す説明図である。

【符号の説明】

1 広告装置

- 10 位置検出部
- 20 方向検出部
- 30 判定条件蓄積部
- 40 広告実行判定部
- 50 広告内容蓄積部
- 60 広告実行部
- 70 通信部

【図1】



【図2】

広告ID	中心位置	位置範囲	進行方向
0001	座標1234	50m以内	北進
0002	座標1234	500m以内	南進
0003	座標1234	500m以内	北又は南進
0004	座標1274	より高	南進
0005	座標1934	500m以内	南進
0006	座標2234	500m以内	南進

フロントページの続き

(72)発明者 鈴木 達郎

東京都新宿区西新宿三丁目19番2号 日本
通信電話株式会社内